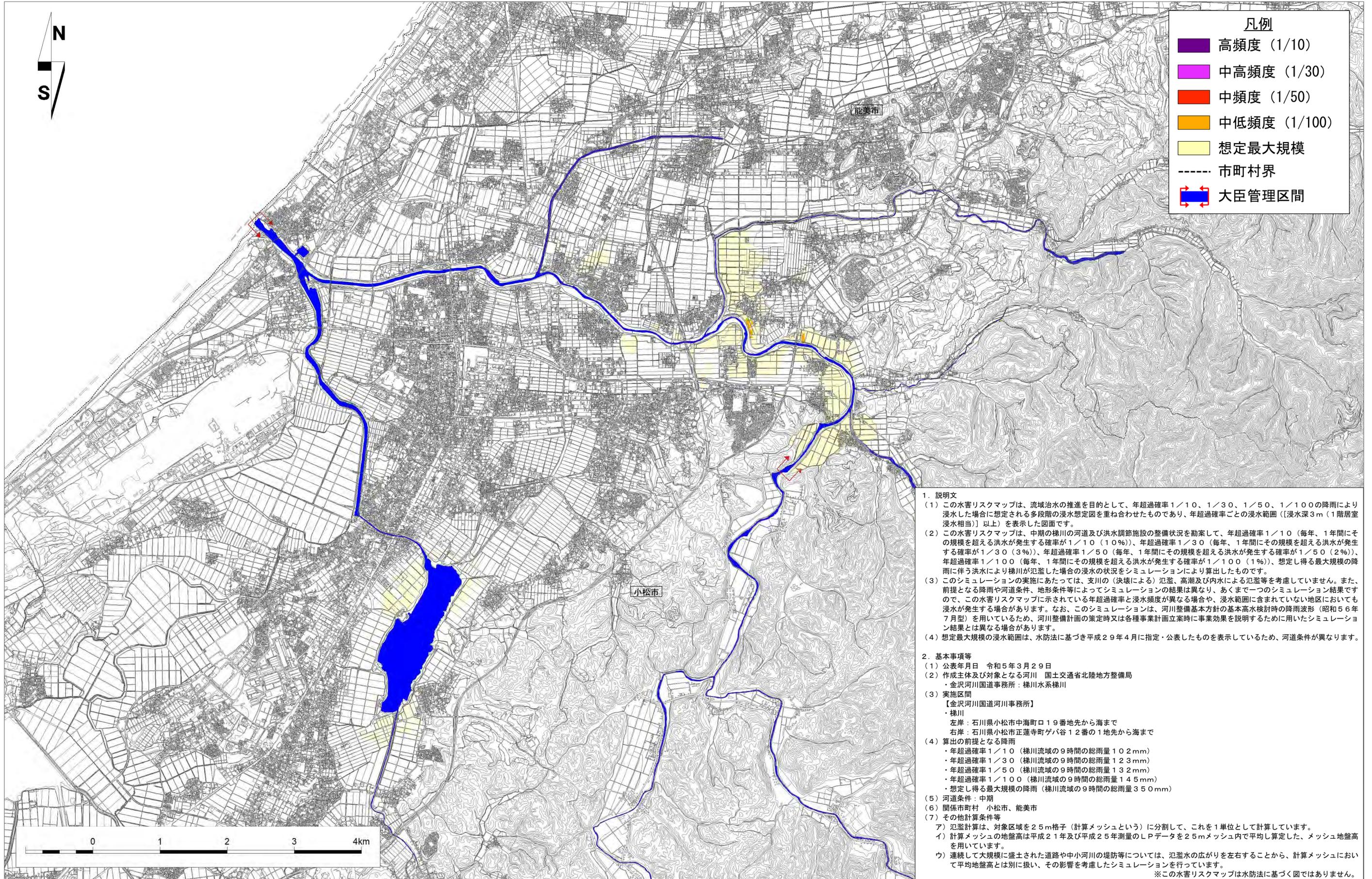


梯川水系 国管理河川から氾濫を想定した水害リスクマップ 【中期時点】

浸水深3m（1階居室浸水相当）以上の
浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文
(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲〔浸水深3m（1階居室浸水相当）以上〕を表示した図面です。
(2) この水害リスクマップは、中期の梯川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%）、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%）、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%）、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%）、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により梯川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和56年7月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
(4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年4月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等
(1) 公表年月日 令和5年3月29日
(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省北陸地方整備局
・金沢河川国道事務所：梯川水系梯川
(3) 実施区間
【金沢河川国道河川事務所】
・梯川
左岸：石川県小松市中海町19番地先から海まで
右岸：石川県小松市正連寺町ゲバ谷12番の1地先から海まで
(4) 算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10（梯川流域の9時間の総雨量102mm）
・年超過確率1/30（梯川流域の9時間の総雨量123mm）
・年超過確率1/50（梯川流域の9時間の総雨量132mm）
・年超過確率1/100（梯川流域の9時間の総雨量145mm）
・想定し得る最大規模の降雨（梯川流域の9時間の総雨量350mm）
(5) 河道条件：中期
(6) 関係市町村 小松市、能美市
(7) その他計算条件等
ア) 氾濫計算は、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。
イ) 計算メッシュの地盤高は平成21年及び平成25年測量のLPデータを25mメッシュ内で平均し算定した、メッシュ地盤高を用いています。
ウ) 連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水の広がりや左右することから、計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。
※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。